



2023年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年10月3日

上場会社名 株式会社クリエイティブSDホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3148 URL <http://www.createsdhd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣瀬泰三
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 山崎哲也 (TEL) 045 (914) 8241
 四半期報告書提出予定日 2022年10月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年5月期第1四半期の連結業績(2022年6月1日~2022年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期第1四半期	94,530	6.2	4,732	0.2	4,872	0.8	3,297	0.9
2022年5月期第1四半期	89,032	3.5	4,722	△13.2	4,836	△12.9	3,266	△13.2

(注) 包括利益 2023年5月期第1四半期 3,308百万円(1.1%) 2022年5月期第1四半期 3,272百万円(△13.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年5月期第1四半期	52.16	—
2022年5月期第1四半期	51.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年5月期第1四半期	180,625	108,177	59.9
2022年5月期	176,910	106,323	60.1

(参考) 自己資本 2023年5月期第1四半期 108,177百万円 2022年5月期 106,323百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年5月期	—	23.00	—	23.00	46.00
2023年5月期	—	—	—	—	—
2023年5月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年5月期の連結業績予想(2022年6月1日~2023年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	182,270	4.9	7,270	△17.8	7,500	△17.5	5,130	△16.8	81.15
通期	371,300	5.9	16,970	△6.6	17,400	△6.8	11,440	△9.2	180.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年5月期1Q	66,819,342株	2022年5月期	66,819,342株
2023年5月期1Q	3,600,793株	2022年5月期	3,600,755株
2023年5月期1Q	63,218,567株	2022年5月期1Q	63,218,613株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等にすいてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(追加情報)	8
3. 補足情報	9
(1) 生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2022年6月1日～2022年8月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、経済活動正常化の動きがあるものの、地政学リスクの高まり、原材料価格の上昇、金融資本市場の変動などの影響により、先行き不透明な状況が続いております。

ドラッグストア業界におきましては、競合他社の出店や価格競争の激化に加え、他業種からの参入や企業の統合・再編の動きが強まっており、厳しい環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは「生活・予防・医療・介護」の各領域において地域に貢献する総合ヘルスケアサポートを推進しております。

<ドラッグストア事業>

ドラッグストア事業につきましては、いつご来店いただいてもお求めやすい価格で提供するEDLP(エブリデイ・ロープライス)を推進しつつ、日常生活に必要なものが一ヶ所で揃うワンストップショッピングのニーズに対応するため、生鮮食品・冷凍食品の品揃え拡充に取り組んでまいりました。また、ドラッグストアへの調剤薬局併設を推進することで、小商圏における利便性及び専門性の向上に引き続き注力してまいりました。

当第1四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス第7波の流行による感染対策商品、抗原検査キットや総合感冒薬等の需要増、記録的な猛暑によるシーズン商品の需要増がみられました。経費面につきましては、原油価格上昇による水道光熱費の高騰や、調剤薬局併設の推進による人件費上昇等の影響が見られたものの、全社的な節電施策の徹底や、現場での人時適正化等の経費抑制に取り組み、売上高・利益ともに前期を上回る結果となりました。

ドラッグストアの新規出店につきましては、5店舗の出店を行いました。調剤薬局の新規出店につきましては、ドラッグストアへの併設調剤薬局を12店舗開局した一方で、契約期間満了により調剤専門薬局1店舗の閉鎖を行いました。

<スーパーマーケット事業>

神奈川県川崎市麻生区および多摩区内において食品スーパー「ゆりストア」を展開しております。個店競争力の強化・ドラッグストア事業とのシナジー創出に向けて、前期に引き続き既存の食品スーパーをドラッグストアと生鮮食品専門店の複合業態へ順次改装転換しております。生鮮食品・惣菜はゆりストアが、その他食品、日用雑貨、化粧品、医薬品、調剤薬局はクリエイトエス・ディーが担当し、当第1四半期連結会計期間末においては、食品スーパー3店舗、ドラッグストア複合の生鮮食品専門店2店舗となりました。

<介護事業>

高齢化が進む中、介護スタッフのもと安心・安全に生活したいという高齢者の方のために、美味しい食事が特徴の介護付有料老人ホームを、またできるだけご自宅で暮らしたいという方のために、筋力などの機能維持・回復訓練を特徴とするデイサービスセンターを運営しております。有料老人ホーム、デイサービスとも、新型コロナウイルス感染防止に留意しつつ、当社グループの特徴である接遇に力を入れ、ご利用者様の満足度アップ及び稼働率の向上を図ってまいりました。当第1四半期連結累計期間におきましては、デイサービスでは経営効率化の観点から2施設の閉鎖を行いました。

以上により、当第1四半期連結会計期間末の当社グループの店舗数はドラッグストア691店舗、調剤薬局につきましては調剤専門薬局35店舗、ドラッグストアへの併設調剤薬局287店舗の合計322店舗となり、スーパーマーケット事業は食品スーパー3店舗、生鮮食品専門店2店舗、介護事業では介護付有料老人ホーム2施設、デイサービスセンター37施設となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間において、売上高は94,530百万円(前年同期比6.2%増)、営業利益は4,732百万円(前年同期比0.2%増)、経常利益は4,872百万円(前年同期比0.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,297百万円(前年同期比0.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は180,625百万円となり、前連結会計年度末に比べて3,714百万円増加しました。主な要因は、売掛金が1,599百万円、土地が5,015百万円増加し、現金及び預金が3,318百万円減少したことなどによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は72,447百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,860百万円

増加いたしました。主な要因は、買掛金が2,535百万円増加し、未払法人税等が1,328百万円減少したことなどによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は108,177百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,854百万円増加いたしました。主な要因は、配当金支払による1,454百万円の減少、親会社株主に帰属する四半期純利益3,297百万円を計上したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月期の連結業績予想につきましては、現時点では2022年7月11日に公表した業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	42,067	38,748
売掛金	11,158	12,758
商品	35,615	35,250
その他	9,274	8,831
流動資産合計	98,115	95,589
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	23,166	23,140
土地	17,196	22,212
その他(純額)	4,407	4,285
有形固定資産合計	44,770	49,638
無形固定資産		
のれん	593	563
その他	918	920
無形固定資産合計	1,511	1,483
投資その他の資産		
長期貸付金	9,868	9,752
敷金及び保証金	11,251	11,293
その他	11,436	12,910
貸倒引当金	△43	△42
投資その他の資産合計	32,513	33,913
固定資産合計	78,795	85,036
資産合計	176,910	180,625
負債の部		
流動負債		
買掛金	44,228	46,764
未払法人税等	3,070	1,741
賞与引当金	357	1,790
役員賞与引当金	145	36
ポイント引当金	164	164
資産除去債務	4	4
その他	14,628	13,872
流動負債合計	62,598	64,373
固定負債		
退職給付に係る負債	3,150	3,229
資産除去債務	3,417	3,446
転貸損失引当金	37	35
その他	1,383	1,361
固定負債合計	7,988	8,074
負債合計	70,587	72,447

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	934	934
利益剰余金	108,850	110,693
自己株式	△4,393	△4,393
株主資本合計	106,391	108,234
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23	27
退職給付に係る調整累計額	△91	△84
その他の包括利益累計額合計	△68	△56
純資産合計	106,323	108,177
負債純資産合計	176,910	180,625

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)
売上高	89,032	94,530
売上原価	65,388	69,160
売上総利益	23,643	25,370
販売費及び一般管理費		
ポイント引当金繰入額	136	164
給料及び手当	7,965	8,492
賞与引当金繰入額	1,312	1,411
役員賞与引当金繰入額	27	32
退職給付費用	111	202
減価償却費	897	912
地代家賃	3,923	4,117
その他	4,546	5,306
販売費及び一般管理費合計	18,920	20,638
営業利益	4,722	4,732
営業外収益		
受取利息	23	22
受取配当金	0	0
受取賃貸料	74	98
その他	58	62
営業外収益合計	156	183
営業外費用		
賃貸費用	42	41
その他	0	1
営業外費用合計	43	42
経常利益	4,836	4,872
特別損失		
固定資産除却損	3	2
特別損失合計	3	2
税金等調整前四半期純利益	4,832	4,870
法人税等	1,565	1,573
四半期純利益	3,266	3,297
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,266	3,297

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)
四半期純利益	3,266	3,297
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	3
退職給付に係る調整額	2	7
その他の包括利益合計	5	11
四半期包括利益	3,272	3,308
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,272	3,308
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の拡大の影響に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

(1) 販売実績

①商品部門別売上実績

当第1四半期連結累計期間における売上実績を商品部門ごとに示すと、次のとおりであります。

商品部門の名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)	
	金額(百万円)	前年同期比 (%)
ドラッグストア事業		
医薬品	26,002	111.9
OTC	15,984	109.1
調剤薬局	10,018	116.6
化粧品	11,402	105.6
食料品	36,507	105.8
日用雑貨品	14,803	101.4
その他	4,365	103.4
小計	93,081	106.5
スーパーマーケット事業	894	79.1
介護事業		
有料老人ホーム	182	94.5
デイサービス	341	102.9
小計	523	100.0
顧客との契約から生じる収益	94,498	106.1
その他の収益(注)	31	—
合計	94,530	106.2

(注) その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸収入が含まれております。

②地区別売上実績

当第1四半期連結累計期間における売上実績を地区ごとに示すと、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年8月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
神奈川県	55,251	62.1	58,668	62.1
東京都	12,756	14.3	13,801	14.6
静岡県	10,169	11.4	10,407	11.0
千葉県	6,314	7.1	6,800	7.2
その他	4,540	5.1	4,852	5.1
合計	89,032	100.0	94,530	100.0

(2) 仕入実績

当第1四半期連結累計期間における仕入実績を商品部門ごとに示すと、次のとおりであります。

商品部門の名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)	
	金額(百万円)	前年同期比 (%)
ドラッグストア事業		
医薬品	15,484	110.5
OTC	9,481	109.7
調剤薬局	6,003	111.8
化粧品	6,951	101.1
食料品	31,476	106.0
日用雑貨品	10,274	100.6
その他	3,407	103.9
小計	67,595	105.5
スーパーマーケット事業	679	78.4
介護事業		
有料老人ホーム	—	—
デイサービス	—	—
小計	—	—
顧客との契約から生じる収益に対する仕入	68,275	105.1
その他の収益	—	—
合計	68,275	105.1